

【DS メールニュース DSMN No.19/2025 年 7 月号】

日本ドキュメントサービス協同組合連合会（以下 DS 連）
所属員、パートナーズ会員、DSLlab.関係、賛助会員各位

本稿を編集しているあいだに梅雨前線が夏の太平洋高気圧に押しやられ、いつの間にか前線のしるしが天気図から消えていました。

また梅雨が勢いを盛り返すかもわかりません。

梅雨末期の大雨には注意が必要ですね。

あるいは、このまま夏！！

夏といえば祭りです。

今号では九州 DS の島村事務局長が「博多祇園山笠」を詳しく投稿してくださいました。

また「福岡五大祭り」のご紹介もいただきました。

7 月には京都では「祇園祭」、大阪では「天神祭り」が挙行されます。

もちろん東京でも沖縄でも大きな祭りが目白押しです。

大いに汗をかいて互いに元気を享受したいものです。

ふと気が付くと、疫病退散や豊穰祈願を起源とする祭りが多いようです。

コロナが過ぎても熱中症、そしてコメ問題。

熱中症対策と秋の米の収量と価格が話題です。

古人も今人も祭礼に籠める思いは同じですね。

まずは自分でできること、熱中症の備えは十分に。

また従業員の皆様の健康管理も。

※9【DS 連事務局より No.3（継続配信情報）】に熱中症対策（厚労省）が掲載されています。

DSMN は DS 連ホームページにも格納されています。

[日本ドキュメントサービス協同組合連合会](#) > [複写連だよりバックナンバー](#) | [日本ドキュメントサービス協同組合連合会](#)

このメールが読みにくいと思われた方は上記よりアクセスしてください。

当月号が最上段にあります。

また過去のアーカイブニュースもご覧いただけます。

試しに、上記 URL をポチッとしてください。

引き続きご一読くださいますようお願いいたします。

日本ドキュメントサービス協同組合連合会

会長 楠本雅一

＝今回お届けする内容＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 【DSLAb.委員会】

Season 4 第 3 回セミナー予告！

Kintone MIS によるアナログ運用の脱却 ～原価・進捗の見える化

2 【DSLAb.委員会】

Season 4 第 1 回セミナーレポート

テーマ：業務で差がでる 生成 AI 活用術

～生成 AI のポテンシャルを引き出すプロンプト入門～

3 【DSLAb.委員会】セミナー速報

Season 4 第 2 回セミナーを実施しました

テーマ：AI と業務ツールの融合

～プロンプトからデザインまでの実践セミナー～

4 【DC プラン (401K)】

金融リテラシーのブラッシュアップ

5 【東京 DS 協同組合】

6 【近畿 DS 協同組合】

7 【九州 DS 協同組合】

8 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 1】

9 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 2】

10 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 3 (継続配信情報)】

11 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 4 (地震対策情報・継続配信)】

12 【編集子より】

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

1 【DSLAb.委員会】

Season 4 第 3 回セミナー実施

テーマ：Kintone MIS によるアナログ運用の脱却 ～原価・進捗の見える化

講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

システムエンジニアリング統括部

東日本第五技術部 技術五グループ

田中 走 様

開催日時：2025 年 7 月 10 日 (木) 16：00～17:30

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

全国の皆様こんにちは。DS.Lab 委員の森下です。

暑い夏が近づいておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

DS.Lab のシーズン 4 第 3 回セミナーのご案内です。

シーズン4のテーマは、

「AIと業務ツールの融合：プロンプトからデザインまでの実践セミナー」です。
生成AIを業務に取り入れるための実践的・実務的なノウハウをお届けします。

【DS.Lab シーズン4第3回セミナー】

2025年7月10日（木）に

「Kintone MISによるアナログ運用の脱却～原価・進捗の見える化」のセミナーを
オンライン（zoom）で開催致します。

現在、以下のような課題を抱えていらっしゃる企業様は少なくありません。

- 既存のMIS（経営情報システム）や基幹システムが老朽化している
- 案件ごとの利益や原価が正確に把握できていない
- 作業が属人化しており、進捗状況が共有できていない
- 営業、現場、工程間のコミュニケーションがアナログなままで非効率

本セミナーでは、

これらの課題をクラウド型Kintoneを基盤としたシステムが、
いかに安価に、そしてスピーディーに解決し、
貴社の原価や進捗の「見える化」を実現するかを具体的にご紹介いたします。

是非、多くの皆様の参加をお待ちしています。

詳細は、下記をご参照下さい。

【セミナーの概要】

- 開催日時：2025年7月10日（木）16：00～17:30
- セミナータイトル：Kintone MISによるアナログ運用の脱却～原価・進捗の見える化
- 講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
システムエンジニアリング統括部 東日本第五技術部 技術五グループ
田中 走様

- 定員：100名！

<視聴できる人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください>

- 申し込み方法は、下記のURL・QRコードから登録お願い致します。

【事前登録URL】

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/oXwv82zCQHaypRaPxPTusg>

【事前登録URL（短縮版）】

<https://x.gd/KvUZu>

●ご不明な点等ございましたら下記までお気軽にお問合せ下さい。

日本ドキュメントサービス協同組合連合会 本部事務局

TEL：06-6222-8722

Mail：dsren@j-ds.or.jp

事務局 小野恵美子

<DS.Lab 委員会 森下智央>

~~~~~  
**2 【DSLAb.委員会】**

Season 4 第1回セミナー実施

テーマ：業務で差がでる 生成 AI 活用術

～生成 AI のポテンシャルを引き出すプロンプト入門～  
~~~~~

【セミナーの概要】

●日時：5月22日（木）16：00～17：30

●講師：富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 佐々木隆太様

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 高橋和馬様

講師のお二人は、富士フイルムグループ全体の生成 AI 活用を推進し、

年間100回以上の社内外の AI セミナーや勉強会を実施されている。

まだ30代の新進気鋭の才気に満ち、お人柄も魅力に溢れる人財である。

●テーマ：プロンプトエンジニアリング

ChatGPT（GPT-4）などの大規模言語モデル（LLM）からより良い回答を得るための
より適切な質問（命令）をする技術です。

【セミナーの結果】

●事前申込数：180名

●参加数：合計33社106名

※Zoomの定員（100名）オーバーにより視聴希望者全員が入室出来ませんでした

●内 訳：東京 DS 3社7名 / 近畿 DS 9社26名 / 九州 DS 5社20名 / 沖縄県 DS 1社1名

パートナーズ1社1名 / その他11社20名 / DS連事務局1社2名 / 関複様2社3名

賛助会員6社28名（うち富士フイルムビジネスイノベーションジャパン17名）

●再放送（6/2～6/13）：YouTube 144回視聴

【アンケートの結果】（一部抜粋）

●アンケート回答者数：56名

●セミナー理解度：84%（「よく理解できた」「理解できた」の比率）

●NPS（ネットプロモートスコア）：26（⇒高評価のセミナーになりました）

NPS とは⇒ <https://www.nttcoms.com/service/nps/summary/>

※顧客ロイヤルティ（商品やサービスに対する信頼・愛着）を測る指標

数値が+（プラス）になれば高評価

●印象に残ったキーワード：上位4位まで

1. プロンプト
2. 役割を与える
3. パワハラプロンプト
4. 0→1 を爆速で生み出す/仮想上司/IKIGAI/まずは使ってみる

●業務でよく利用されている生成 AI：上位5位まで

1. Chat GPT 42
2. Copilot 20
3. Gemini 15
4. Adobe Firefly 12
5. Canva 9

●現在、どのようなシーンで生成 AI を活用しているか：カテゴリー別上位5位まで

1. 文書作成関連
2. 画像処理・生成 画像関連
3. 情報収集・分析
4. アイデア出し・企画（創造的な作業）
5. プログラミング・技術支援

●今後、どのような場面で生成 AI を活用したいか：カテゴリー別上位9位まで

1. 文書作成・編集
2. デザイン・クリエイティブ業務
3. 業務効率化・自動化
4. 分析・データ処理
5. 営業・顧客対応支援
6. 知識獲得・学習支援
7. 企画・アイデア創出
8. ウェブ関連（サイトの改善や作成）
9. 個人的な活用

●現状、課題に感じている業務や作業について：カテゴリー別上位8位まで

1. 資料作成と文書処理
2. デザインと画像処理
3. 業務効率化と自動化
4. 営業・顧客対応
5. マーケティングと販促
6. 技術的課題

7. 組織内の課題（教育、人材等）

8. セキュリティとコンプライアンス

●セミナーに関して、ご意見、ご感想、ご質問

割愛いたします

今回のセミナーテーマ（プロンプトエンジニアリング）は、大規模言語モデル LLM がより大規模化するいま、生成 AI を活用するための基礎的な知識だとも言えます。

今回のセミナーにおいて 180 名のお申し込みをいただいたことはそれだけ重要だという認識が広くあるからでしょう。

今回のセミナーは、まずは「生成 AI の導入部」です。

今後のセミナーにご期待ください。

【Season 4 に向けて（再送）】

今回のセミナーでは、生成 AI の業務への具体的な活用事例、そしてプロンプトのコツまで、幅広くご紹介させていただきました。

ご参加の皆さまにとって、日々の業務に生成 AI を取り入れるヒントや、組織変革のきっかけとなる気づきが得られていれば幸いです。

生成 AI は、正しく理解し、適切に使うことで、私たちの働き方や価値創造のあり方を大きく変える可能性を秘めています。

ぜひ、明日からの業務において、今日の学びを実践に活かしていただければと思います。

今シーズンの 2 回目のセミナーにつきましては、2025 年 6 月 26 日 16:00 より、名古屋にございます株式会社大元堂の代表取締役 水谷元泰様による「日々の業務に生成 AI を活用して業務効率化を行うための実践セミナー」を開催いたしました。

今シーズンもさまざまなテーマを取り上げ皆様のお役に立てるセミナーを開催してまいりますので皆様ご参加いただけると幸いです。

それでは、また次回のセミナーでお会いできることを楽しみにしております。

<DS 連 DS.Lab 委員会>

~~~~~

### 3 【DSL Lab.委員会】セミナー速報

Season 4 第 2 回セミナーを実施しました

テーマ：AI と業務ツールの融合

プロンプトからデザインまでの実践セミナー

~~~~~

今シーズンのテーマは、

「AI と業務ツールの融合：プロンプトからデザインまでの実践セミナー」と題し、生成 AI を業務に取り入れるための実践的なノウハウを、シリーズ形式でお届けしています。

【セミナー概要】

- 日 時：2025 年 6 月 26 日（木）16：00～17:30
- 講 師：株式会社大元堂 代表取締役 水谷 元泰 様
- テーマ：複写（印刷）業界における AI 活用について

私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

AI はもはや特別な技術ではなく、誰もが使いこなすべき必須のツールとなりつつあります。

「AI をどう業務に組み込めばいいのかわからない」

「たくさんのツールがあるけれど、どれが自社に最適なのか」といった悩みをお持ちではありませんか？

今回は AI のビジネス活用の面白さ、便利さを知っていただき、触れていただくきっかけになるような実事例をお伝えいたします。

なお本セミナーは株式会社リコージャパン様のご支援をいただいて実施しました。

本稿をお借りして御礼を申し上げます。

【講師より】

株式会社大元堂は印刷会社です。

弊社の「売り」は、見た目だけのデザインや印刷品質ではありません。

お客様が、販売促進・情報発信・データ加工などでお困りの時に、すぐに気軽に声を掛けて頂ける「便利屋」でありたいと思っています。

もちろん印刷に関してもプロですが、販売促進のプロ・情報伝達のプロ・問題解決のプロでありたいと、日々勉強しております。

とは言え、普段は名刺や封筒や伝票やチラシや会社案内等の印刷を承っておりますが、あくまでも、印刷した「紙」が売り物なのではなく、販売促進や情報発信の「効果」を売っています。

【DS.Lab 委員会より】

皆さま、ご多忙の中、「複写（印刷）業界における AI 活用について」セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回のセミナーでは、日常業務で生成 AI を具体的に活用する事例を多くご紹介いただきました。ご参加の皆さまにとって、日々の業務に生成 AI を取り入れるヒントや、組織変革のきっかけとなる気づきが得られたなら幸いです。

生成 AI は、正しく理解し適切に使えば、皆さんの働き方や生み出す価値を大きく変える力を持っています。

今日の学びを、ぜひ明日からの仕事で試してみてください。
その一歩が、きっと大きな変化につながります。

【見逃し配信】

Season 4 第2回セミナーの見逃し配信をいたします。

<https://youtu.be/EXNPEHgqh6w>

配信期間：7月1日（火）～7月13日（日）

【第3回セミナーのご案内】

今シーズン3回目のセミナーは、すでにご案内を差し上げておりますが、

2025年7月10日（木曜日）16:00～17:30に開催いたします。

第3回目のセミナーは、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社の田中様をお招きし、Kintoneを活用し業務効率化を図るための

「Kintone MISによるアナログ運用の脱却～原価・進捗の見える化」

をお話しいたします。

今シーズンも、皆さまのお役に立てるよう様々なテーマを取り上げてまいりますので、引き続きご参加いただけると幸いです。

それでは、また次回のセミナーでお会いできることを楽しみにしております。

誠にありがとうございました。

<DS.Lab 委員会>

~~~~~

#### 4 【DC プラン（401K）】

金融リテラシーのブラッシュアップ

~~~~~

★★DCプラン業務管理室からの情報提供～「金融商品（投資信託）を知る」について

<はじめに>

DCプラン業務管理室からの情報提供です。確定拠出年金（DCプラン）における資産運用では、金融商品（主に投資信託）に関する知識を醸成することが重要となります。

今号から、改めて投資信託の理解を深めるため、投資信託の用語を数回に分けて解説します。

【投資信託の用語解説（その2）】

<ベンチマーク>

投資信託が、運用のターゲットにしている指標あるいは運用成果を検証する際に利用する指標のこと。

国内株式では「日経平均株価」「TOPIX」が代表的なベンチマークです。

インデックス・ファンド（パッシブ・ファンド）は、ベンチマークに連動する運用をおこない、アクティブ・ファンドは、ベンチマークを上回る運用を目指します。

<日経平均株価>

東証プライム市場に上場する 225 銘柄を選定し、その株価を使って算出する株価平均型の指数。TOPIX とともに、日本を代表する株価指数です。

株式相場の動向を示す指標としてだけでなく、多くの指数連動型金融商品にも利用されています。

<TOPIX>

英語表記「Tokyo Stock Price Index」の略で、東証株価指数といいます。

東京証券取引所の市場に上場する主要な日本企業を対象とした株価指数で、1968 年 1 月 4 日の株式時価総額を 100 として東証が算出・公表しています。

<NOMURA-BPI 総合指数>

日本の公社債（国債や社債など）市場の動向を表す代表的な指数。

インカムゲイン（配当金などの収入）を考慮した時価総額加重平均型の指数で、野村証券が算出しています。

<FTSE 世界国債インデックス>

先進国国債の動向を表す代表的な指数。

先進国債券における投資の際の主要なベンチマークであり、多く投資信託が採用しています。

<MSCI-KOKUSAI 指数>

日本を除く先進国株式の動向を表す代表的な株価指数。

米国の調査会社 MSCI（Morgan Stanley Capital International＝モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社が定義する先進国 23 カ国のうち日本を除く 22 カ国で構成されており、時価総額の大きい銘柄を中心に組み込まれて算出されています。

グローバル投資の際の主要なベンチマークとして、多くの投資信託が採用しています。

<DS 連 DC プラン業務管理室/佐々木信司>

5 【東京 DS 協同組合】

東京ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

6月5日にホテルウイングインターナショナルプレミアム東京四谷にて59回通常総会・懇親会を開催いたしました

無事に総会の方は滞りなく終わりました。

懇親会ではリコージャパン(株)青木麗子様とキャノンマーケティングジャパン(株)吉岡康之様からご祝辞をいただき、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)鈴木信彦様からの乾杯のご発声で懇親会が始まりました。

2時間と限られた時間の中で皆さんと美味しい料理とお酒を飲みながら楽しい時間を一緒に過ごす事が出来ました。

毎年行われているビンゴゲームでは、いつも大変お世話になっております賛助会員の方々のみ景品とは別に特別プレゼント（お酒・大谷翔平のプレミアムTシャツ他）が当たりました。

ビンゴゲームでの1位は顧問税理士の大畑先生でした。（おめでとうございます）

いつも思うのですが楽しい時間はあっという間に過ぎて行きます。

来年は60回と節目の年なので懇親会の方も今年より更に盛り上げて行きたいと考えております。お集まりになりました皆さんそして、準備をなさってくれた事務局榎本さん、本当にありがとうございます。

お疲れ様でした。

今年1年皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

6月18日関東複写センター協同組合の懇親会に出席してきました。

新年会と同じ神田明神にて行われました。

梅雨の中休みとあって暑かったですが現地に着くと何故か背筋が伸びます。

森迫理事長のご挨拶では、生成Aiを使用しての事業展開などを中心にしたセミナー等を行きたいとおっしゃられていました。

座席も森迫理事長の隣でしたので今後の共同企画のセミナー等のお話をしてきました。

リコージャパン(株)の青木麗子さんの名（迷）乾杯の挨拶に始まり美味しい料理を食べながら楽しい時間を過ごしてきました。

帰りに舟和の芋羊羹を頂きました。

ごちそうさまでした

（東京ドキュメントサービス協同組合 理事長 梶 宏朗）

●TDS組合 第59回通常総会・懇親会開催

日 時：2025年6月5日木曜日

場 所：ホテルウイングインターナショナルプレミアム東京四谷 2F

東京都新宿区四谷3-14-1

TEL：03-3356-2111

第59回通常総会 16時開催

第1号議案から第4号議案までを審議の上、無事ご了承を得て終了いたしました

懇親会

18時開催

<< 次第 >> 司会・進行 木場一郎 理事

・理事長挨拶 梶 宏朗 理事長

・来賓祝辞 リコージャパン(株) 青木麗子 様

キヤノンマーケティングジャパン(株) 吉岡康之 様

・乾杯 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株) 鈴木信彦 様

・ビンゴゲーム大会

・中締め 亀田 直樹 専務理事

*参加者 22名(組合員 11名・賛助会員 7名・関係者 3名 事務局 1名)

お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

●リコージャパン(株) セミナー開催予定

日 時：2025年7月11日金曜日 15:00~17:00

場 所：リコージャパン株式会社 本社事業所

(港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル12階)

内 容：1部 セミナー 「リコーの AI で実現する業務改善～基礎から学べる現場で使える AI 活用法～」

2部 ショールーム見学

※1部のセミナーのみリモート開催実施予定

※セミナー終了後に懇親会開催予定

(東京ドキュメントサービス協同組合 事務局 榎本有紀子) <東京ドキュメントサービス協同組合 事務局 榎本有紀子>

~~~~~

## 6【近畿 DS 協同組合】

~~~~~

近畿ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

2025年6月事業報告について

【第62期通常総会・セミナー・懇親会開催】

●日 時：6月10日(火)

●総会 15:00~16:00

●セミナー 16:30~17:45

●懇親会 18:00~20:00

●会 場 ：ザ ガーデンオリエンタル大阪

総会にて任期満了による役員改選を行いました。

第63・64期新役員：

理事長 河村武敏（㈱アピックス）

副理事長 福味洋一郎（㈱田村コピー）

〃 和田英剛（㈱六甲商会）

〃 石川敬一（石川特殊特急製本㈱）

専務理事 日笠宏昭（㈱宏和）

理事 関雅夫（㈱光楽堂）

〃 小野正治（オーエムカラーコピー㈱）

〃 山田強（㈱イメージテック）

〃 橋本良平（㈱TD・K）

〃 今井由美子（㈱創和情報管理センター）

〃 山脇慎也（㈱ヤマイチテクノ）

監事 巽充雄（㈱カンサイ）

〃 満田創（㈱ダイビス）

以上になります。よろしくお願い致します。

【事業変革成長戦略支援セミナーについて】

テーマ：お金も時間も手間もかけずに売上も利益も劇的に変える！

自分では見えないあなたの事業の”本当の価値”の見つけ方とは

参加者：43名

アンケート結果：89.3%有益だったと回答。

【懇親会】

参加者：49名

司会：福味副理事長

一、開会の辞

福味副理事長

二、理事長挨拶

河村理事長

三、御来賓挨拶

大阪府中小企業団体中央会

柴田昌幸様

大阪府グラフィックサービス協同組合

小幡利之様

賛助会員ご挨拶

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱

白石葉子様

リコージャパン株式会社

谷口正幸様

四、乾 杯

キャノンマーケティングジャパン㈱

吉田千寿也様

五、新役員紹介

六、賛助会員様ご紹介（ご挨拶受けていない方）

共同紙販ホールディングス(株)

桎尾彰浩様

(株)モトヤ

永岡 賢様

七、退任役員へ感謝の辞

(株)ヤマイチテクノ

山脇雅則様

八、中締め

石川副理事長

●総会終了後、決算関係書類並びに役員変更届等提出済。

2025年7月予定について

第714回理事会開催予定

●日 時： 7月28日（月）17時～18時30分

●場 所： 近畿ドキュメントサービス協同組合事務局会議室

以上です。

<近畿ドキュメントサービス協同組合 事務局長小野恵美子>

~~~~~

## 7【九州 DS 協同組合】

博多祇園山笠・福岡五大祭り・第6回九複連だより（抄）

行事予定

~~~~~

九州ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

DSMN7月号 九州ドキュメントサービス協同組合からの報告です。

7月度の九州 DS は行事予定がありませんので夏祭りについて投稿します。

各地方では夏祭りが企画されていることと思います。

今回、博多にまつわるお祭りとして、国指定重要無形民俗文化財に指定されている「博多祇園山笠」がありますのでご紹介いたします。

ユネスコ世界無形文化財にも登録されている博多祇園山笠は、1241年にまでさかのぼる歴史があります。

当時流行っていた「疫病」を鎮めるために、町を清める目的で始まったのが起源とされていて、

博多にある伝統的な「櫛田神社」の奉納神事として続いてきました。

毎年 7 月 1 日から 15 日まで、豊臣秀吉によって分けられたと言われる 7 つの区画（それを流れと呼びます）に分かれて執り行われます。

追い山笠は 7 月 15 日午前 4 時 59 分に設定されております。

一番山笠が博多祝い唄を歌うのを考慮し 5 時スタートでなく 4 時 59 分スタートとなったそうです。

夜明けの行事であり、神々しい雰囲気も漂う中で執り行われる。

昇き山笠は午前 1 時半ごろから櫛田神社前の土居通りに順番に並べられ、昇き手は各流の町内毎に続々と集合。

お参りをした後はひたすら開始を待ち続ける。

満員の栈敷席、沿道に詰め掛けた見物客が待つ中、午前 4 時 59 分、大太鼓の合図とともに一番山笠がドッと“櫛田入り”。

清道旗を回ったところでいったん山笠を止め、見物客を巻き込んで「博多祝い唄」の大合唱。

誰もがゾクゾクとする一瞬で、「魂が震える」と表現する人もいます。

歌い終わると、山笠は境内を出て博多部に設けられた“追い山笠コース”（約 5 キロ）を懸命にゴール目指して昇く姿は勇壮です。

博多人形師が丹精込めて作った山笠は、絢爛豪華で存在感が抜群です。

その数トンもある途方もない重量物を担いで駆ける男達の様子は、まさに圧巻のひとつです。

※山笠のスケジュール（行事の詳細については省略させていただきます）

7 月 10 日(木)	流昇き
7 月 11 日(金)	朝山笠、他流昇き
7 月 12 日(土)	追い山笠ならし
7 月 13 日(日)	集団山笠見せ
7 月 14 日(月)	流昇き
7 月 15 日(火)	祭りのフィナーレとなる「追い山笠」

※福岡県内で開催される様々な祭りのうち、

特に規模が大きく知名度も高い祭りを「福岡五大祭り」と呼びます。

【福岡五大祭り】

鬼 夜(久留米市)→ 12 月 31 日～1 月 7 日開催

川渡り神幸祭(田川市)→ 5 月第 3 土曜日、日曜日開催

博多祇園山笠(福岡市博多区)→ 7 月 1 日～15 日

小倉祇園太鼓(北九州市小倉北区)→ 7 月第 3 土曜日の前後 3 日間

戸畑祇園太鼓(北九州市戸畑区) → 7 月第 4 土曜日の前後 3 日間

第 6 回 九複連だより (抄)

九州複写産業協同組合連合会(九複連)の情報誌 1997 年(平成 9 年)

1 月の「九複連だより」創刊号に当時の会長・副会長・理事の方々が寄稿されております。

その方々の寄稿内容(28 年前)を 7 回に分けてご紹介したいと思います。

今回第 6 回目は当時の熊本県複写産業協同組合理事長、安武鎮男氏のご挨拶です。

【牛歩戦略で焦らず ゆっくり前進】

日本複写産業厚生年金基金理事

熊本県複写産業協同組合

理事長 安武 鎮男

私事ですが、六十歳をこえますと体に変調来し、一昨年の暮れに入院し、皆様よりお見舞いと暖かいお言葉をいただき、ありがとうございました。

お陰様で現在は仕事に復帰していますので他事ながらご安心下さい。

さて政治不安と景気が心配になりますが、複写業は今まで不況に強いと言われてきましたが、長引く不況が続き、利益を出している大企業がリストラをし、厳しい環境におかれています。

我々の業界はシステムの変化、高度化、多様化に振り回されてきました。

これまでに蓄積した設備と技術を顧客に提案し、新しく仕事を創造しなければならないと思っています。

不況は働く人の質が向上し、能力ある人を採用することができ天が与えてくれたチャンスと思っています。

丑年に因み牛歩戦略で焦らずゆっくりと行きます。

皆様の企業のご発展をお祈りします。

(熊本コピー株式会社 代表取締役 安武鎮男)

【九州 DS の行事予定】

令和 7 年 9 月 12 日(金) 九州ドキュメントサービス協同組合 9 月度例会・懇親会

時間 17 時 30 分～

会場:八仙閣 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 7-7

詳細は後日ご報告致します。

<九州ドキュメントサービス協同組合 事務局 島村祐志>

~~~~~

8 【DS 連事務局より中央省庁情報 No.1】

中央省庁よりの周知情報(経済産業省ほか)

※本情報は DS 連よりすでに配信をしています

~~~~~

周知依頼が参りましたのでご案内いたします。

下記 URL よりご確認下さい。

周知依頼メール

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17.pdf>

6 件の周知依頼を一挙に掲載します。

それぞれに有用なお知らせと存じます。

まずは目次をご確認ください。

【目次】

1. 【全中発】令和 7 年度外国人雇用啓発月間実施に対する協力依頼について
2. 【全中発】高年齢者雇用状況等報告及び障害者雇用状況報告に係るオンライン申請の活用に向けたご協力のお願い（要請）
3. 【全中発】「求職者等への職場情報提供に当たっての手引」第 2 版の周知依頼について
4. マイナンバーカード活用等に向けた周知のご協力のお願い
5. 【全中発】非正規雇用労働者等が働きながら学びやすい職業訓練試行事業の周知について
6. 【周知依頼】デジタル推進人材育成プログラム「マナビ DX Quest」の受講生募集について

【内容】

周知依頼メール（6 件あります）

1.

この度、厚生労働省 労働基準局長、職業安定局長、雇用環境・均等局長、人材開発統括官より、本会会長に対し、別添の通り周知の依頼がありました。

厚生労働省では、例年 6 月は政府全体として「外国人労働者問題啓発月間」とし、全国的に啓発運動を展開していくこととしております。

また、令和 5 年から実施しております外国人労働者に係る雇用管理や労働移動の実態などを調査する「外国人雇用実態調査」に選定された際には、ご協力いただきますようお願いいたします。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、

下記の URL 等を用いて、周知して頂きますようお願い申し上げます。

▼【資料 1】令和 7 年度「外国人雇用啓発月間」の取組内容 [PDF 形式：4.0MB]

▼【資料 2】ポスター「外国人雇用啓発月間」

■ 6 月は「外国人雇用啓発月間」です | 厚生労働省

■ 外国人雇用実態調査 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

2.

この度、厚生労働省職業安定局より、本会に対し、下記の通り周知の依頼がありました。

厚生労働省職業安定局では、「高年齢者雇用状況等報告」及び「障害者雇用状況報告」についてオンライン申請をご活用いただくため、申請方法等をご案内しています。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、下記の URL 等を用いて、周知して頂きますようお願い申し上げます。

1.電子証明書のご案内 | e-Gov 電子申請

2. (別添) リーフレット (電子申請のご案内) [253KB]

※電子申請において G ビズ ID (無料) または電子署名(有料)が必要となります。

■令和 7 年高年齢者・障害者雇用状況等報告の電子申請による提出について | 厚生労働省

※本件につきまして、ご不明点やご意見等ございましたら、以下の担当までご連絡ください。

【高年齢者雇用状況等報告関係】

厚生労働省職業安定局高年齢者雇用対策課 雇用指導係 面高・宮本

TEL : 0 3 - 5 3 5 3 - 1 1 1 1 (内線 5 8 2 3)

e-mail : omodaka-isamu@mhlw.go.jp

miyamoto-hana.qm8@mhlw.go.jp

【障害者雇用状況報告関係】

厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 雇用指導係 水野・豊嶋

TEL : 0 3 - 5 3 5 3 - 1 1 1 1 (内線 5 8 6 8 ・ 5 7 8 9)

e-mail : mizuno-ayumi@mhlw.go.jp

toyoshima-yuno.37t@mhlw.go.jp

3.

この度、厚生労働省職業安定局長より、本会に対し、下記の通り周知の依頼がありました。

厚生労働省職業安定局では、求職者等における職場選択や就職後の早期離職防止の一助となるよう、企業等の適切な情報提供の参考として策定していた「求職者等への職場情報提供に当たっての手引」を今般、別添のとおり、改定いたしました。

中小企業・小規模事業者においても業種問わず、人手不足が深刻化しております。

本手引には、求職者が求める情報など、採用に際しての有用な情報が掲載されております。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、下記の URL 等を用いて、周知して頂きますようお願い申し上げます。

▼【別添 1】新旧対照表 (手引第 2 版) 001488559.pdf

▼【別添 2】「求職者等への職場情報提供に当たっての手引」概要 (令和 7 年 5 月改定) [499KB]

▼【別添 3】「求職者等への職場情報提供に当たっての手引」第 2 版 (令和 7 年 5 月改定) [701KB]

▼【別添4】企業等の皆さま向けリーフレット [1.2MB]

▼職場情報の開示・提供に関するチェックリスト [38KB]

■労働市場関連情報 厚生労働省 | 厚生労働省

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-2.pdf>

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

=====

全国中小企業団体中央会

労働政策部 岡部

TEL：03-3523-4903

E-mail：roudo-seisaku@mail.chuokai.or.jp

=====

4.

お世話になっております。

経済産業省商務・サービスグループ文化創造産業課の倉持と申します。

平素より、弊省の取り組みに対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、マイナンバーカードの活用促進に向けた周知活動について、皆様のご協力をお願い申し上げます。

具体的には、以下の2点についてご対応いただけますようお願い致します。

○会員事業者への要請文の発出

添付の通知ひな形をご活用いただき、会員事業者への呼びかけを行っていただけますようお願い申し上げます。

貴団体の実態に応じて、適宜修正してご利用いただければ幸いです。

また、通知に添付する資料として「マイナンバーカード利活用についてのお知らせ」及び「参考資料」をご使用いただけますようお願い申し上げます。

通知の発出は、可能な限り速やかに実施していただけますと幸いです。

○関連資料の情報提供

マイナンバーカード活用に関する周知用資料については、デジタル庁のウェブサイト

(https://www.digital.go.jp/policies/mynumber_resources)にてご確認ください。

こちらの資料を基に、貴団体内での周知活動を進めていただけますようお願い申し上げます。

国民の皆様の利便性向上のため、マイナンバーカードが身分証明書として積極的に活用されるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

特に、本人確認書類としての位置づけや、住民票の写しの提出に関する対応についてもご配慮いただけますと幸いです。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-3.pdf>

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

△□○-----

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課（総括・書店振興 PT）

倉持 康文（Kuramochi Yasufumi）

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 別館 9 階 901

携帯電話(個人)：050-3092-5459

文化創造産業課直通：03-3501-1750

MAIL：kuramochi-yasufumi@meti.go.jp

○METI Journal ONLINE ～今どきの本屋の話～

<https://journal.meti.go.jp/honya/page/2/>

-----△□○

5.

この度、厚生労働省人材開発統括官付訓練企画室より本会に対し、下記の通り周知の依頼がありました。

厚生労働省では、昨年度に引き続き今年度においても、在職中の非正規雇用労働者等の受講を前提とした 職業訓練を試行的に実施することとしており、6 月より、当該職業訓練の受講生の募集が開始されることとなりました。

この事業は、変化の激しい企業のビジネス環境に対応するために労働者のスキルアップが求められている中で、正社員に対して OFF-JT を実施した事業所割合が 71.4%に対し、正社員以外に対しては 28.3%と、正社員以外の労働者の能力開発機会は少ない状況にあり、非正規雇用労働者等が働きなが

らでも学びやすく、自らの希望に応じた柔軟な日時や実施方法による職業訓練を受講できるような仕組を構築し、非正規雇用労働者等のリ・スキリングを支援することを目的としたものです。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、

別添の URL 及びリーフレットを用いて周知して頂きますようお願いいたします。

▼ヒューマンアカデミー株式会社

<https://growingup-careers.com/>

▼株式会社ウチダ人材開発センタ

<https://lms.emanabi.jp/jeed/#form>

■特設HP（働きながら学びやすい職業訓練）

<https://www3.jeed.go.jp/hatarakimanaberu/>

■非正規雇用労働者等が働きながら学びやすい職業訓練試行事業（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36590.html

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-4.pdf>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-5.pdf>

※本件につきまして、ご不明点やご意見等ございましたら、以下の担当までご連絡ください。

【本事業に関するお問合せ先】

厚生労働省 03-5253-1111（代表）

人材開発統括官付訓練企画室

成長分野等人材育成係（内線 5228,5227）

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

=====

全国中小企業団体中央会

労働政策部 長島

TEL：03-3523-4903

E-mail：roudo-seisaku@mail.chuokai.or.jp

=====

6.

文化創造産業課 関係団体の皆様

平素より、経済産業政策に御理解・御協力くださりまして誠にありがとうございます。

経済産業省では、地域企業・産業のDXの実現に向け、ビジネスの現場における課題解決の実践を通じた能力を磨くため、デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」を実施します。

マナビDX Questは、

①企業データに基づく実践的なケーススタディ教育プログラム（以下、「ケーススタディ教育プログラム」という。）及び

②地域の中小企業との協働による、デジタル技術を活用した課題解決型の地域企業協働プログラム（以下、「地域企業協働プログラム」という。）からなります。

このたび、今期の①ケーススタディ教育プログラムの受講生を以下のとおり募集します。

自社のデジタル人材育成に取り組もうとされている企業の社員の皆様にご参加いただき、当プログラムを通して得られたノウハウ・知見を自社に持ち帰ることで、デジタル人材育成及び企業のDXの実現に向け活用いただきたく、会員企業への周知をお願いのため御連絡差し上げました。つきましては、貴団体の会員企業に展開していただき、御周知いただきますようお願い申し上げます。

また、本件について御不明な点がございましたら、下記のお問い合わせ先まで御連絡くださいますよう、重ねて御周知の程お願い致します。

【プログラム概要】

①ケーススタディ教育プログラム（8月開始予定）※今回募集対象

●講師による座学ではなく、参加者が情報交換して学び合い・教え合いながら、与えられた課題を解決していく、PBL (Project-based Learning：プロジェクト型学習)を中心に据えたプログラムです。

●約3ヶ月間のPBLで、AIによる需要予測やデータ分析による収益改善等の実際の企業課題をテーマにした複数のケーススタディ教材から選択し、ビジネス課題からデジタル課題まで、DXを推進し組織を変革する一連のプロセスを一気通貫で学習することができます。

●全てのプログラムがオンラインで提供されます。

また、各課題には原則個人で取り組んでいただきますので、御自身の都合の良い時間で受講いただけます。

②地域企業協働プログラム（秋以降開始予定）※夏以降募集開始予定

●約2ヶ月から3ヶ月間、地域の中小企業の課題にチームで取り組むプログラムです。

●中小企業の経営者・担当者との協働を通じて、ケーススタディ教育プログラムで学んだスキルを用いて、実際に現場でDXを推進する際の難しさやポイントを学ぶことができます。

※参加要件はプログラムにより異なりますが、ケーススタディ教育プログラム修了（過年度を含む）を参加要件とするプログラムがあります。

令和6年度は、約2,400名がケーススタディ教育プログラムに参加し、満足度84%を達成しました。

マナビDX Questを通して、企業におけるDX推進のプロセスを学ぶとともに、志を同じくする幅広いデジタル人材とのつながりを構築することができます。

※ケーススタディ教育プログラムは、令和7年度地域デジタル人材育成・確保推進事業費（企業データに基づく実践的なケーススタディ教育プログラム事業）補助金に係る交付決定事業者により実施します。

実施時期等は事業者により異なりますので、詳細はマナビDX Quest ホームページにて御確認ください。

【応募方法】

ケーススタディ教育プログラムについて、以下のとおり募集開始しますので、ぜひ御応募ください。

●応募締切は、7月中旬または8月上旬の予定です（プログラムにより異なる）。

なお、定員に達し次第、早期に締め切る場合があります。

●今期は2事業者によるプログラムを提供します。

参加を御希望の方は、マナビ DX Quest ホームページにて各事業者が展開するプログラムの開催概要・募集要項等を御確認いただき、各事業者の応募方法に従って御応募ください。

【応募サイトはこちら】

マナビ DX Quest への参加御希望の方は、下記より詳細御確認の上、御応募いただけますと幸いです。

「マナビ DX Quest」ホームページ：<https://dxq.manabi-dx.ipa.go.jp/>

（お問い合わせ先）商務情報政策局情報技術利用促進課

担当：内田（か）

電子メール：bzl-digital@meti.go.jp<<mailto:bzl-digital@meti.go.jp>>

電話：03-3501-1511（内線 3971）

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-6.pdf>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.17-7.pdf>

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

△□○-----

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課（総括・書店振興 PT）

倉持 康文（Kuramochi Yasufumi）

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 別館 9 階 901

携帯電話(個人)：050-3092-5459

文化創造産業課直通：03-3501-1750

MAIL：kuramochi-yasufumi@meti.go.jp<<mailto:kuramochi-yasufumi@meti.go.jp>>

○METI Journal ONLINE ～今どきの本屋の話～

<https://journal.meti.go.jp/honya/page/2/>

-----△□○

<DS 連事務局長 小野恵美子>

~~~~~

#### 9 【DS 連事務局より中央省庁情報 No.2】

中央省庁よりの周知情報（厚生労働省）

※本情報は DS 連よりすでに配信をしています

~~~~~

【周知依頼メール】

お世話になります、DS 連本部事務局小野です。

さて、下記の様に周知依頼が参りましたのでご案内いたします。

下記 URL よりご確認ください。

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.26.pdf>

2 件の周知依頼を一挙に掲載します。

それぞれに有用なお知らせと存じます。

まずは目次をご確認ください。

【目次】

1. 【全中発】「適切な労務管理のための労働契約等に関するルールの定着に向けた周知・啓発」事業の実施に当たっての周知広報活動への協力依頼について
2. 【全中発】 産業別高齢者雇用推進事業（令和 8 年度開始分）のご案内（周知依頼）

【内容】

周知依頼メール（2 件あります）

1.

厚生労働省では、例年「労働契約等解説セミナー」を委託事業として行い、労働契約等に関するルール、

無期転換ルール、副業・兼業の促進に関するガイドラインについて解説しています。

今年度は、7 月からの開催を予定しています。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、

別添の PDF 等を用いて、周知して頂きますようお願い申し上げます。

■〈労働契約等解説セミナー2025〉適切な労務管理のための労働契約等に関するルールの定着に向けた周知・啓発事業 | 厚生労働省

■労働契約等解説セミナーについて | 厚生労働省

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.26-2.pdf>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.26-3.pdf>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.26-4.pdf>

※本事業に関するお問合せ※

TEL：03-5226-9919（平日 10：00～17：00）

▼お問い合わせフォーム〈労働契約等解説セミナー2025〉

2.

厚生労働省が所管する、J E E D（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）では、高齢者雇用支援の一環として、産業別団体に事業を委託する「産業別高齢者雇用推進事業」を実施しております。

委託する事業とは、各産業における高齢者雇用の現状・課題を調査把握し、「高齢者雇用ガイドライン」を策定して、

会員企業へ普及するものであり、高齢者雇用推進や人手不足解消、高齢人材の戦力化など産業全体の活性化に繋げていくものです。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、添付の PDF データ等を用いて、周知して頂きますようお願いいたします。

<添付資料>

<https://kinkid-s.jp/news/2025.6.26-5.pdf>

※本件につきまして、ご不明点やご意見等ございましたら、以下の担当までご連絡ください。

【本事業に関するお問合せ先】

J E E D（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）

高齢者雇用推進・研究部次長 小野 聡

電 話：043-297-9530

メール：tkjyosa@jeed.go.jp

■ J E E D（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）H P

<https://www.jeed.go.jp/>

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

=====

全国中小企業団体中央会

労働政策部 長島

TEL：03-3523-4903

E-mail：roudo-seisaku@mail.chuokai.or.jp

~~~~~

1 0 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 3（継続配信情報）】

中央省庁よりの周知情報（厚生労働省）

熱中症に関する情報なので同じ情報を毎号配信しています。

※本情報は DS 連よりすでに配信をしています

~~~~~

【全中発】熱中症の健康障害の疑いがある者の早期発見や重篤化の防止等のための改正労働安全

衛生規則の周知について

会員各位

いつもお世話になっております。

この度、厚生労働省労働基準局安全衛生部より、本会に対し、下記の通り周知の依頼がありました。

厚生労働省では、職場における熱中症対策を強化するため

「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」により、

労働安全衛生規則 612 条の 2 が新設され、

令和 7 年 6 月 1 日から施行されます。

つきましては、傘下の会員組合・組合員企業等に対して、

下記の URL 等を用いて、周知して頂きますようお願い申し上げます。

令和 7 年 6 月 1 日から改正労働安全衛生規則が施行されます

●施行通達：【令和 7 年 5 月 20 日付け基発 0520 第 6 号】労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行等について

●パンフレット：

https://neccyusho.mhlw.go.jp/pdf/2025/r7_neccyusho_strengthening_pamphlet.pdf

配信に関するお問い合わせは以下のメールアドレスまでお願いいたします。

=====

全国中小企業団体中央会

労働政策部 岡部

TEL：03-3523-4903

E-mail：roudo-seisaku@mail.chuokai.or.jp

=====

以上になります。

よろしくお願い致します。

2025.5.28

<DS 連事務局長 小野恵美子>

~~~~~

1 1 【DS 連事務局より中央省庁情報 No. 4（継続配信情報）】

中央省庁より周知依頼（経済産業省）

地震対策に関する情報なので同じ情報を毎号配信しています。

※本情報はDS連よりすでに配信をしています

~~~~~

●地震情報のない日がないくらい地震は日常茶飯事です。

そのために前号に引き続き再掲いたします。

参考になれば幸甚です。

【以下本文】

平素より大変お世話になっております。

経済産業省 文化創造産業課の石原島と申します。

日頃より防災対応の取組に関するご理解、ご協力等を賜り、ありがとうございます。

令和6年8月8日に発生した日向灘の地震においては、南海トラフ沿いで続いて発生する地震、いわゆる「後発地震」への注意を促す情報として、運用開始以降初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を内閣府及び気象庁から発表させていただきました。

南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている市町村の住民や企業等の皆様に、政府としての「特別な注意の呼びかけ」を行ったところですが、情報発表時に適切な防災対応をとっていただけるよう、情報の概要やとるべき防災対応等について更なる周知が必要と考えております。

つきましては、会員企業等へ下記資料及び協力依頼の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、日本海溝・千島海溝沿いにおける「後発地震」への注意を促す情報として、令和4年12月から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を開始しております。

この機会に、改めて当該情報につきましても、下記資料及び協力依頼の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

（１）リーフレット「南海トラフ地震 ーその時の備えー」

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/leaflet.pdf>

（２）マンガ冊子「南海トラフ地震 その日が来たら…」

東側編（閲覧用） https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_east_01.pdf

東側編（製本用） https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_east_02.pdf

西側編（閲覧用） https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_west_01.pdf

西側編（製本用） https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_west_02.pdf

※東側編は、南海トラフの東側地域（概ね、関東地方、東海地方）にお住いの方向けの内容になります。

※西側編は、南海トラフの西側地域（概ね、近畿地方、中国地方、四国地方、九州・沖縄地方）にお住いの方向けの内容になります。

※製本用は短辺とじで両面印刷し、中央部を折ってご利用ください。

https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/chishima_leaflets.pdf

https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/chishima_manga.pdf

ご多忙の折お手数おかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

<DS 連事務局長 小野恵美子>

すると面白いコンテンツがありました。

<https://journal.meti.go.jp/honya/page/2/>

——— さまざまな産業がある中で、とくに書店の支援に国が乗り出す意義は何ですか？
という問いに対して、経産省いわく、
本にはいろいろなものの見方や歴史など、重要なものが詰まっていますから、日本の文化力を高める上で非常に重要なアイテムです。
また、文化創造産業の基盤として機能していると考えておりますから、我が国の競争力強化にも影響があります。

文化力強化は産業競争力を高めることになるとの主張です。
日本の知のインフラを守るために全国の書店は頑張っています。
私たちも紙の本来の価値を熟考し、紙製作あるいはデジタル系代替商品やサービス提供の事業を進めたいと思います。

毎号寄稿くださっている各協同組合事務局の皆様方、委員会の皆様方、お忙しいなか誠にありがとうございます。
これからも DS 連の各種情報・各地域の活動情報・関係省庁の情報を提供できればと考えています。

DS 連は何をしているのか。
仲間達は何をしているのか。
行政はどのような情報を発信しているのか。
それらを知り活用することから組織としての価値が育ち、そして組織と会員様との一体感、さらには協同組合相互の連帯感が醸成されます。
それぞれの活動の足跡を全国の会員様・賛助会員様に配信し共有したいと考えています。
ご一読、ありがとうございました。
<DS 連会長 楠本雅一>

◆DS 連メールニュースのお問い合わせは下記までお願いします◆

◆配信停止は下記までご連絡をお願いいたします◆

////////////////-////////////////

日本ドキュメントサービス協同組合連合会 本部事務局

〒541-0043：大阪府大阪市中央区高麗橋 1-5-6 東洋ビル

近畿ドキュメントサービス協同組合内

TEL：06-6222-8722

Mail：dsren@j-ds.or.jp

日本ドキュメントサービス協同組合連合会 東京連絡事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-3-6 アイエス共同ビル

東京ドキュメントサービス協同組合事務局内

TEL：03-3356-5445

Mail：tds-kumiai@nifty.com

////////////////////

#####

2024 年 1 月より「DS 連メールニュース (DSMN)」を配信しています。

なお DSMN は DS 連にご縁のある方々にお送りしております。

#####